

ミラノ国際映画祭外国語映画部門最優秀長編作品賞受賞！世界が認めたYoshino Takemoto初長編映画



小さな手だ。

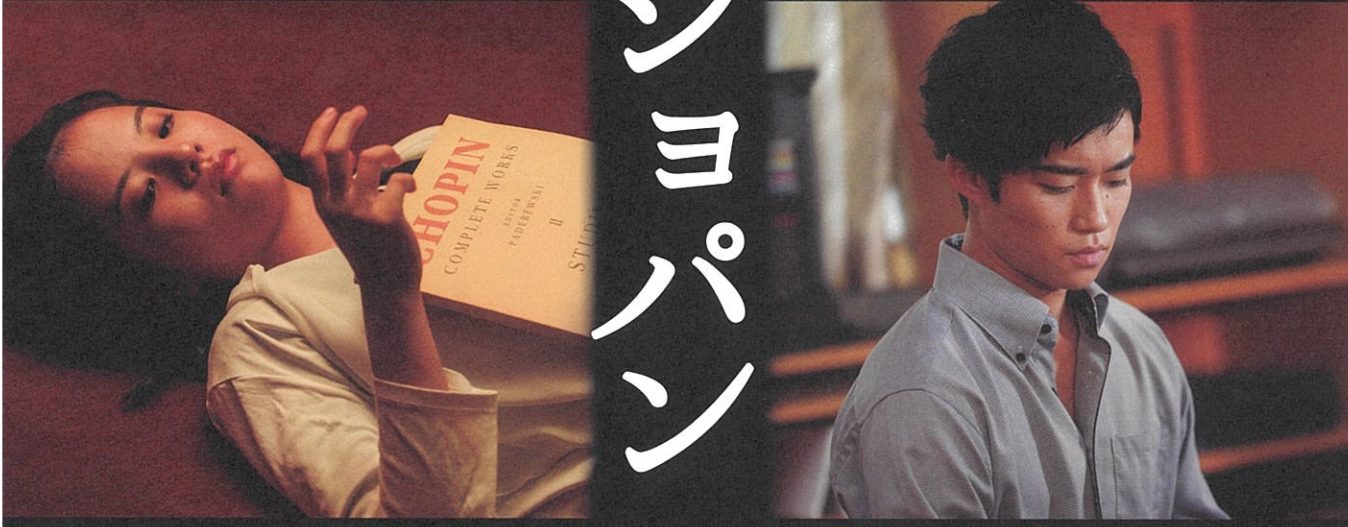
ショパンを弾くためにあるような手だ



阪神淡路大震災そして局所性ジストニアがピアノリストを目指す若き二人の未来を奪う

にしぎきた ショパン

Left of Chopin



脚本/編集/監督 竹本祥乃

出演 水田汐音 中村拳司 ルナ・ジャネッティ 泉高弘 野々村亜梨沙 楠部知子 とみすみほ
友情出演 茂木大輔(指揮者)

プロデューサー:近藤修平 脚本:北村紗代子

音楽スタッフ: 左手のピアニスト有馬圭亮(ピアノ) 老田裕子(ソプラノ) 近藤浩平(作曲) 沼光絵理佳(編曲・ピアノ) 松本光史(ピアノ)
撮影/前田智広 録音/長尾優 照明/渡邊祐紀 助監督/山中太郎 ヘアメイク/目千瑛
制作:(株)Office Hassel 協賛:(株)NGK(日本元気化計画) (有)タカーホ

後援:公益財団法人神戸市民文化振興財団/学校法人神戸女学院/一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ビティナ)/西宮恵美寿ロータリークラブ
西宮市/特定非営利活動法人日本現代音楽協会/一般社団法人日本作曲家協議会/ホーランド広報文化センター/株式会社山野楽器
一般社団法人ワンハンドピアノミュージック

自分の人生にも、
『魂に響く音』を探したくなった

NHK連続テレビ小説「エール」
脚本家 嶋田うれ葉

凛子と鍵太郎(けんたろう)は、小さい頃からの幼なじみであり、その独特の風貌から達磨先生とよばれる高校音楽教師のピアノの門下生。鍵太郎のピアノの腕は、門下生の中でも常に一番で、作曲もこなす天才肌だ。鍵太郎の大きな手が奏でるラフマニノフは素晴らしく、テクニックでは誰にも負けない实力を持っていた。対して凛子は、ピアノは大好きだが、不器用でコツコツと努力するタイプ。彼女はショパンに憧れていた。

だが、「阪神淡路大震災」そして「局所性ジストニア」というピアノとしての道を閉ざされかねない大きな試練が二人を襲う。葛藤し、苦悩しながらも二人は「魂に響く音」を追い求めていく。

もう練習するな。あの楽譜も捨てろ。
ちゃんと弾くから。一番になる。
一番になったら……

にしきたシヨパンの音楽

ショパン、ラフマニノフの名曲、そして近藤浩平作曲の左手のピアノ曲など全編に音楽が満ち溢れる。国際ピアノコンクールシーンで使用されるラフマニノフ ピアノ協奏曲第2番ピアノソロバージョンは、フジテレビ系ドラマ・アニメ・映画「のだめカンタービレ」の作編曲及び演奏収録、演技指導をした沼光絵理佳による編集・演奏収録。ピティナなど多くのピアノコンクールで受賞歴を持つ凛子役の水田汐音、ポーランド国立ショパン音楽大学卒業の野々村亜梨沙、元高校音楽教師泉高弘、ジャズ奏者として活躍の石井陽太ら出演者自らによるピアノ演奏シーンは心に迫り、音楽の魅力を伝える映画になっている。

左手のピアニストとは

局所性ジストニアのために、左手のみで演奏するピアニスト。五指による演奏は、音楽ができる喜びに

溢れ、両手の演奏に負けない豊かで心に響く音がする。左手のピアニストとして活躍する智内威雄、瀬川泰代、作曲家近藤浩平にインタビューを重ねて「にしきたシヨパン」のシナリオが完成した。映画では近藤浩平作曲の左手のピアノ曲が重要な役割を担う。

*局所性ジストニアとは音楽家に多く見られる、指などの筋肉収縮を引き起こす神経疾患

ピアノを愛する方なら感情移入まちがいなし

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ) 専務理事 福田成康



詳しくは「にしきたシヨパン」のHPへ
office-hassel.com/n-chopin



JR名古屋駅大閘通口・ビックカメラ南西角

シネマスコール

☎052-452-6036

2021年9月25日(土)~10月8日(金) ※上映時間はお問い合わせ下さい、

料金:当日/一般1700円 学生1300円 会員1300円

全国共通特別鑑賞券(特典缶バッジ付)1400円 販売中